

大和公民館だより

発行者 大和公民館

〒409-1203 甲州市大和町初鹿野 1693-1

館長(有賀)  主事(三枝) 

◆ バドミントン教室開催のお知らせ

恒例のバドミントン教室を、次の日程で開催します。今回は、甲州市スポーツ協会大和支部のバドミントン部及びバドミントン愛好会フレンズの協力をいただき、共催事業として開催します。

新型コロナウイルスの影響で、各種イベント等が中止あるいは延期されていますが感染防止対策を講じての開催となります。

参加希望者は、マスク着用のうえお越しください。

日 時 10月16日(金)・23日(金)・30日(金)

午後7時～午後9時

会場 大和中学校体育馆

対象 小学生以上

お問い合わせ及び参加申し込みは、大和ふるさと会館（848-23921）まで

篠子峠の西の麓の民話・伝説 一平山 梅太一

「名犬とムジナ僧」

昔、鎌倉の建長寺の庭に3匹の年老いたムジナが住んでいた。ある晩、寺の管長さんと

2人の坊さんを殺して何食わぬ顔で、管長さんと坊さんに化けて近郷近在で豪遊していた。

ところが飽きてしまい、3人のムジナ僧は相談をして他の国へ行き人間様をだましてお大

尽遊びをしようということになった。手始めに甲州へ行くことに決めた。

ムジナは犬が大嫌いだから、行く先々へ犬を繋ぐようおそれをして旅立った。郡内の

宿へ着くと村人達は偉い坊さんがおいでになったというのでご馳走してもらいました。

宿の主人が管長さんに「記念になにか書いて下せえ」と頼んだ。管長さんは快く引き受

け、両手を使い一気に百人一首をかいた。その中に左文字のものが45もあったのでさ

すがに偉い坊さんだと村人は感心した。

(裏面へ続く)

明くる日は好天気で楽しい旅を続けた。「この分では明るいうちに駒飼宿に着ける」と峠

子峠を目指して登って行った。

その頃、麓の駒飼宿ではお百姓さんが可愛がっていたトチという利口な甲斐犬が、5日

も前からどこへ行ったのか姿を消し見えなくなっていた。繋いでおくようにとおふれが出
ていたので、お百姓さんは探し回ったが見つからず、どうしたものかと思案していた。

一方、ムジナ僧は峠の頂上に着き一休みして峠を下り始めた。ところが峠に一番近い沢
まで下ってくると、突然犬が管長さんに襲いかかりかみ殺してしまった。

他の2人のムジナ僧はびっくり仰天、命ながら麓の村へ逃げ村人に「建長寺の管長さ
んが峠で犬にかみ殺された」と告げて立ち去った。「さあ、てーへんな事になった」と村中
大騒ぎとなった。

村人が峠を目指して登っていくと、犬の鳴き声がするのでそばに近づくと二度びっくり。
管長さんではなく、一匹の古いムジナがかみ殺されていた。「あーよかった」と胸を撫で下
ろし、さすがに利口な犬だとほめたたえた。

この事件があつてから、村人はこの沢を「坊主の沢」と呼ぶようになった。残りの二人
のムジナ僧のうち一人は、甲府の在の名主の家に泊まりご馳走になっていた。名主さんが
「記念になにか書いて下さい」と頼むと、快く引き受け人払いをして「覗くな」と念を押
し奥の座敷でなにやら書き始めた。見るなと言われると見たいのが人情、襖の隙間から覗
くと尻尾で何やら書いていたのでムジナだと見破り、飼い犬を放すとたちまちかみ殺され
てしまった。もう一人のムジナ僧は、蘿崎の常光寺に滞在していたが、甲府在の名主から
「ムジナである」と注進があり、番犬を放すとたちまち退治されたということである。